

静小だより

みがきかがやく静小の子ども

「知」 よく考える子

「徳」 思いやりのある子

「体」 たくまいい子

「学校」「家庭」「地域」すべての場で 健全な子どもの育成を めざしましょう。

力が発揮できる学習の場【習熟度別指導】

私達教師は、学習内容を理解した時に見せる子どもたちの笑顔を目にすることがなによりの喜びです。「わかったよ!」「考えたらできたよ。」「最初分からなかったけど、できるようになったよ!」等と声高らかに響く学習の場を今後も大事にしていきたいと考えております。

さて、本校では平成13年度より「公立小学校指導方法工夫改善加配」の事業に取り組んでおります。取組の概要は次の通りです。

○習熟度別・少人数指導

- *少人数編成により、一人一人の子どもに対する指導効果を上げる。
- *同じ学習内容であっても、「考える力」「表現できる力」「基礎学力の定着」「活用力」等の中から、重点的に身に付けさせなければならない力を明らかにした上でのクラス編成と指導を行う。

○TT指導

- *一人一人の子どもの実態やニーズに応じた指導を行うなど、幅のある対応を行う。
- *複数の目で一人一人の子どもをとらえ、適切な評価と手立てを行う。

今年度も年度始めより、上記の指導を行っています。学級のメンバーが一斉に学ぶ従来の指導にもよさがあるように、少人数で学ぶよさもあります。少人数で学べるよさは、何と言っても子どもたちが自分のペースに合わせて学習でき、力を発揮しながら学べることです。



本校では、将来を担う子どもたちを育成することが学校の責務であると押さえ、今後も一人一人の子どもが力を発揮できる学習環境づくりに努めてまいります。そして、子どもたちが「学ぶ意欲」「学ぶ楽しさ」「学ぶ喜び」を実感でき、素敵な笑顔を見せる授業づくりを創り出していきたいと考えております。

【3年生「わり算」振り返りカードより ～習熟度別・少人数指導～】

質問項目	「あてはまる」 (%)
① 学習は楽しかったですか。	95.6
② 学習の内容が分かりましたか。	91.3
③ 学習では、自分の力を発揮することができましたか。	82.6
④ 先生の教え方は分かりやすかったですか。	95.6

* 「あてはまらない」と回答した子どものつまずきについては、早急に改善点を協議し、子どもたちの学ぶ意欲や学ぶ力を高める手立てを講じます。

【3年生の子どもたちの感想：授業後の感想】

○先生のべんきょうのし方がわかりやすくて、わり算のやり方がわかりました。さいしょは、あまりできなかったけれど、だんだんできるようになりました。
○わたしは、「ぐんぐんコース」でしたが、さいしょはむずかしかったけど、後から楽しくなって算数が大好きになりました。せんせいはやさしくおしえてくれて、すごくわかりやすかったです。
○わたしは「じっくりコース」の三浦先生の方でわり算をやりました。三浦先生はやさしくわかりやすく教えてくれました。だから、「○」が多くなってうれしかったです。
○「じっくりコース」と「ぐんぐんコース」で分かれたわり算。三浦先生はわかりやすく教えてくれました。そして、やさしく教えてくれました。私は楽しくべん強ができました。
○どの文章題がわり算なのかとか、大きい数のわり算のやり方が学びました。…(中略)…また先生と算数をやって、もっと算数の力をつけたいです。

関係機関との連携による体力向上取組

例年、この時期に全国の小学5年生を対象とした「新体力テスト」が行われています。本校5年生の新体力テスト実施については、今年度より教育委員会体育振興課と連携を図り実施いたしました。体育振興課の小瀧さんに3回来校していただきました。小瀧さんの、子どもたちの心を引きつける指導は、子どもたちの新体力テストに向けての取組意欲を高めるとともに、運動することの楽しさやよさの実感へとつながったように感じます。

本校の教育活動が子どもたちにとって充実したものとなるよう、今後も体育科をはじめ、さまざまな学習活動等において関係機関や地域の方々との連携を図っていきたいと考えております。

